

## Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場はトニビニ中銀総裁の発言からレアル高となる展開でした。朝方は12月の小売売上高が市場予想を下回ったことで前日比レアル安の2.43台前半から始まりましたが、トニビニ総裁がレアル安抑制のために外貨準備を使う用意があると発言したことからレアルは反転上昇し、2.40台後半へレアル高となりました。その後もレアル買い地合いは続き、結局2.39台前半で引けています。

トニビニ総裁は現状のレアル相場水準が十分安くなったとの認識を示し必要であればレアル安のインパクトを和らげるために外貨準備を使う用意があると述べました。これまでではデリバティブを利用したスワップ介入によってレアル安抑制を図ってきたため外貨準備は全く使っていませんでしたが、およそ3700億ドルの潤沢な外貨準備を背景に口先介入を強化してきました。仮に現行のスワップ介入から外貨準備による直接ドル売却に切り替えればレアルは急騰するでしょう。但し、現在のレアル安は緩やかに進行しており、急激な資本流出が起こっているわけでもないので直ぐに介入方針が変更になるとも思えません。また、総裁は中銀がインフレ目標中間値である4.5%へ近づける努力を続けており、インフレを抑制するためのツールは国際経済環境によって調整されるとも述べています。トニビニ総裁就任以来、一度も4.5%を達成したことはなく現在も程遠い状況ですが、インフレ抑制のツールすなわち政策金利を調整する可能性を示唆しています。ブラジルの経済構造が利上げによるインフレ抑制効果を減殺しているため、実質的には景気との兼ね合いを考えて5%台のインフレをキープする努力を総裁は続けていくでしょう。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	2月12日	2月13日	前日比	1月13日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	42,26	42,69	+0,43	43,69	-1,00
USD / BRL Spot	BRL	2,4260	2,3935	-0,0325	2,3574	+0,0361
USD / JPY Spot	JPY	102,53	102,17	-0,36	103,00	-0,83
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	48.217	47.813	-404	49.427	-1.614
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	191,0	189,7	-1,3	196,7	-7,0
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	13,15	13,00	-0,15	12,75	+0,25
DI Future Jan15 (金利先物)	%	11,37	11,38	+0,01	10,71	+0,67
3 Months US Dollar Libor	%	0,236	0,236	+0,000	0,239	-0,003
CRB Index (国際商品指数)	Index	291,7	292,6	+0,9	276,1	+16,5

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

